

第7回 志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本計画策定検討委員会
【議事概要】

【開催日時】

令和3年6月24日（木） 19:00～20:30

【開催場所】

市民会館 203～205 会議室

【配布資料】

- 次第
- 第6回 議事概要
- 志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本計画（素案）

【議事概要】

（1）基本計画（素案）の変更点について

○主な意見

～避難所としての位置づけについて～

- ・避難所としての活用を目指すのであれば、避難生活をする際に必要となるキッチンや給湯などの設備が必要ではないか。
- ・この地域の避難所は志木小学校がメインであり、そのバックアップとして本施設が位置付けられること、志木小学校との役割分担などについて明記してはどうか。
- ・避難所としての役割や、必要な設備などについては、市の防災計画との兼ね合いなどを踏まえ、今後、精査するとともに、関係部局との調整等をお願いしたい。

～SDGsの取組について～

- ・施設を設計する上ではSDGsの視点を取り入れてほしい。

～楽屋の規模について～

- ・楽屋の規模については、1室14人程度として4部屋が必要であると考えている。男女別とすることも必要である。何とか確保してほしい。
- ・楽屋が足りない場合には、リハーサルルームを間仕切りして活用することや、体育関係の諸室を活用することで対処することとしてはどうか。
- ・要望として具体的な数字が上げられていることから、これを失念しないよう、注釈としてでも構わないので、基本計画には明記しておいてはどうか。

～運用の方法について～

- ・文化的な行事と体育的な行事が同時に開催されると、1000人超の利用が想定され、混雑などが生じる恐れがある。大規模なイベントが重複することを避けるなど、施設の運用

に仕方についても、検討をしておくべきである。

(2) 基本理念について

○主な意見

- ・志木市らしさ（コンパクトな市であることなど）を、より具体的にし、言葉として示していくべきではないか。
- ・これまでも実施されてきた大規模イベントを開催できる施設であること、これまで積み上げられた文化や取り組みを継承し、市民が応援することができる場としてはどうか。
- ・休日と平日の利用を両立する施設であること、「オール志木」でのイベントから、平日の普段使いまでをカバーする施設であることが望まれる。
- ・晴れの日の発表の場、積み重ねてきた努力を発揮する場、喜んでいる姿（笑顔）を見ることができる場とする。
- ・市民に「愛される」施設とすることが重要である。
- ・防災的な観点が理念に盛り込まれていない。普段の利用を通じて、自然と避難場所であることを認識してもらえよう配慮が必要ではないか。
- ・新しい施設として「安心」して利用できることを盛り込めば、防災的な機能もイメージできるのではないか。
- ・これまでの市民会館や体育館で行われてきた様々な活動や取り組みを継承し、新たな試みも加えていくことで「市民の誇り」となる施設としてはどうか。
- ・「志木市らしさ」については、明確な言葉が見当たらないが、設計者に提案を促してみてもどうか。
- ・「誰もが使いやすく」という文言は、当たり前なので記載しなくていいのではないか。
- ・「市中」ではなく、「市の中心」といった方がわかりやすいのではないか。
- ・「もっと志木を好きになる複合施設」としてはどうか。
- ・コンパクトな市であることから、人と人との距離が近く感じられるのが本市の特徴ではないか。人と人とのつながりを受け継いで次世代へつなぐ、将来的にどんな新しい交流が生まれるのか、わくわく感がある施設を目指すべきである。
- ・「絆」をキーワードに加えてほしい。

【今後の予定等】

- ・基本理念については本日のご意見等を踏まえ事務局側で手直しし、それを加えた計画書を、今月末、市長へ報告することを了承いただいた。
- ・7月以降にパブリックコメントを実施し、追加の意見等を徴取する。
- ・今後、設計に関する公募を経て、ワークショップ等の開催も予定している。

～以上～